

経営比較分析表（令和5年度決算）

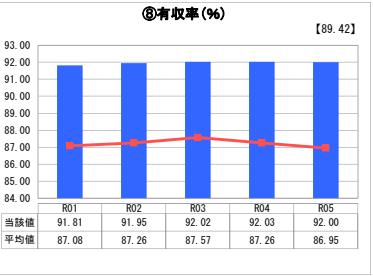
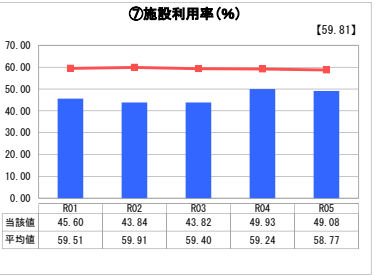
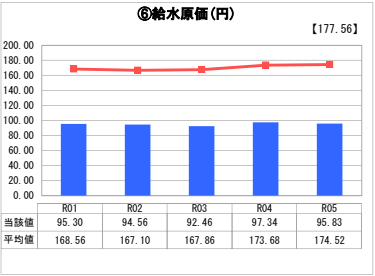
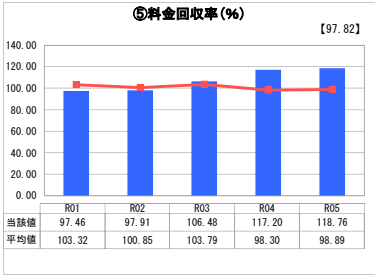
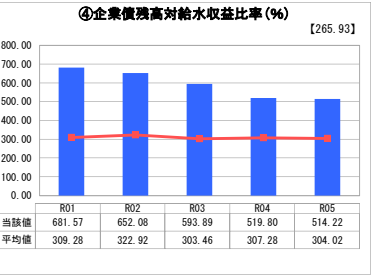
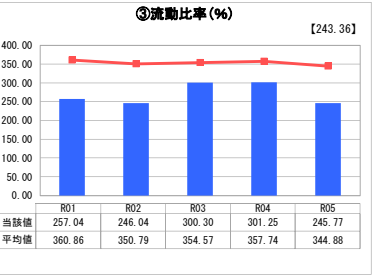
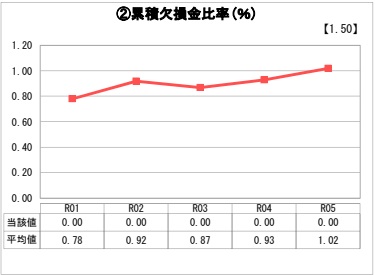
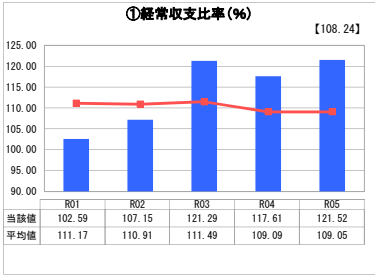
福井県 敦賀市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり重産料金(円)	
-	62.37	97.98	2,222	

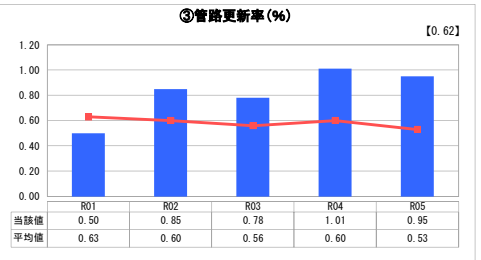
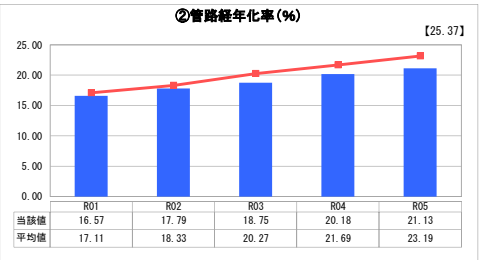
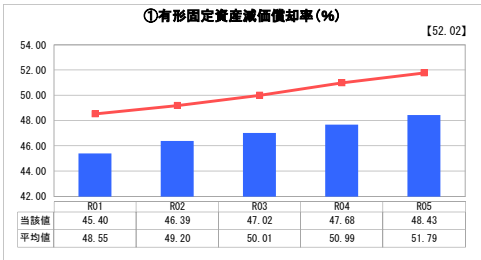
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
62,942	536.37	117.35
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
61,265	36.92	1,659.40

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%を超え、類似団体平均値、全国平均ともに上回っており、総収益で総費用を賄っている状況である。

②累積欠損金比率は発生していない。

③流動比率は、類似団体平均値を下回っているが、100%を超えており、全国平均を上回った。短期的な債務に対する支払い能力に問題はない状況である。

④企業債残高対給水収益比率は、徐々に減少しているものの類似団体平均値、全国平均ともに上回っており、資金調達に企業債に依存している状態であるため、借入額の抑制等を行い、企業債残高を減少させる必要がある。

⑤料金回収率は、令和3年度の料金改定の結果、類似団体平均値、全国平均ともに上回り、給水に対する費用を給水収益で賄うことができている。

⑥給水原価は、類似団体平均値、全国平均ともに下回っている。これは、水源のほとんどが地下水であり、塩素消毒のみで供給できていることが多いため、費用が抑えられるからである。

⑦施設利用率は、類似団体平均値、全国平均ともに下回っているため、今後の水需要動向によって施設規模の見直しを検討する必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値、全国平均ともに下回っているが、より一層計画的に、施設更新を行っている。

②管路経年率は、類似団体平均値、全国平均ともに下回っているが、より計画的かつ効率的に、管路更新を行っている。

③管路更新率は、類似団体平均値、全国平均ともに上回っているが、更新ペースが遅いため、より一層計画的な管路更新を行っていく必要がある。

全体総括

累積欠損金がなく、経常収支比率、料金回収率ともに100%を超えており、料金改定によって経営に必要な経費を料金で賄うことができる経営状況になった。

有形固定資産減価償却率、管路経年率は平均より下回っているが、高度経済成長期に集中的に整備された施設の更新時期が、現在到来している。

管路更新率は平均より上回っているが、更新ペースが遅いため、今後一気に施設や管の老朽化が進んでいく。

人口や水需要の動向を踏まえ、施設更新のために財源確保に努め、計画的に施設規模の見直しを含めた更新を行うなど、効率的な経営を行う必要がある。